

12 月 15 日：VN 指数は薄商いのなか下落 (VN-Index -0.71%)

- VN 指数は昨日からの下落に続き、軟調な値動きのまま取引を開始した。
- 米国での注目指標の発表や、中国の国家主席である習近平氏の来越といった大きなイベントを通過後、市場は材料難のなか流動性が低下し下落した。
- 取引時間中に何度か前日終値の水準まで回復する局面がみられたものの、最終的には強い売り圧力に買い方が押され、下落して取引を終了した。
- 幅広いセクターが売られ、特に、小売、通信、旅行・レジャーセクターが売られた。反対に、自動車・部品セクターは買われた。
- 162 銘柄が上昇、338 銘柄が下落、87 銘柄は変わらずだった。
- 午前中は昨日より流動性が低かったが、午後はわずかに回復。結果、流動性は前日比 8.2%増の 15.9 兆ドンとなった。

VN30 指数は前日より下落幅が拡大 (VN-30 -0.64%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 5 銘柄、下落が 20 銘柄、変わらずが 5 銘柄と、多くの銘柄が売られた。
- 銘柄別では、昨日に引き続き ACB (+1.11%) が指数の上昇をけん引した。
- 一方、MSN (-3.08%)、BCM (-2.67%)、VCB (-2.61%) などの銘柄が相場の足を引っ張った。

セクター・個別株の動き

- BCM (-2.67%) は取締役会にて、最大 1 兆 3000 億ドンの私募債を発行する方針を承認した。目的は運転資金への充当としているが、財務リスクの悪化が投資家たちから懸念され売られた。
- NVL (+3.68%) は本日、3 億米ドル分の転換社債の条件変更を発表。社債の満期は 2026 年で、年利は 5.25%だ。これにより、同社に対する当面の資金繰り懸念が後退し、特に海外投資家から好感され株価は上昇した。

- 外国人投資家は 1 兆 4570 億ドルの売り越しと、売り越し額は昨日より拡大。これにより、13 営業日連続の売り越しとなった。銘柄では NVL と VND に買いが集まった一方、HPG は最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。